

暑い地域と乾燥した地域の暮らし

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

暑い地域や乾燥した地域の人々は、どのように暮らしているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 熱帯の暮らし

熱帯

スコール

熱帯で、午後などに短い時間に激しく降る雨。

やきはたのうぎょう 焼畑農業

森林や草を焼き、その灰を肥料にして作物を育てる農業。

赤道付近の熱帯は、一年中気温が高く、雨が多い。午後には、短い時間に激しく降るスコールが見られることが多い。雨の多い地域には、多くの種類の樹木がしげる熱帯雨林が広がっている。

暑さや湿気をさけるため、床を地面から離してつくる高床の住居が見られる。食事では、キャッサバやタロイモなどのいも類や、バナナが主食とされてきた。森林や草を焼き、その灰を肥料にして作物を育てる焼畑農業を行ってきた地域もある。

近年は、熱帯雨林を切りひらいて輸出向けの作物を育てる大きな農園がつくられ、森林の減少が問題になっている。都市では、コンクリートの高い建物も多くなった。

2 乾燥帯の暮らし

乾燥帯

オアシス

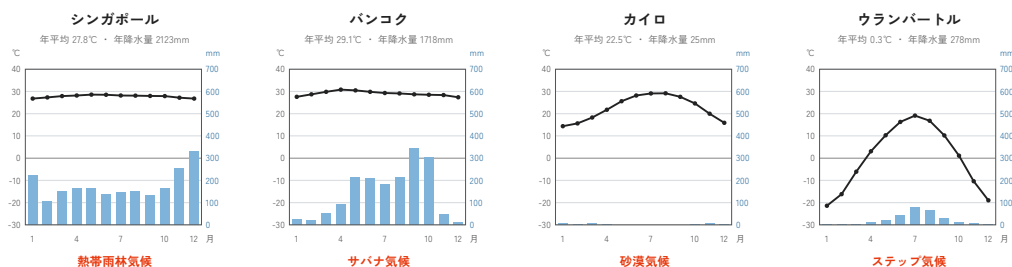
砂漠の中で、わき水などによって水が得られる所。

ゆうぼく 遊牧

水や草を求めて、家畜とともに移動しながら暮らすこと。

乾燥帯は雨が少なく、砂漠が広がる地域もある。砂漠の中でも、わき水などで水が得られるオアシスには人々が集まり、なつめやしや小麦などがつくられている。川や地下水から水を引くかんがいによって、農地を広げてきた地域もある。

森林が少ないため、土をこねて形をととのえ、日光で乾かした日干しれんがで家がつくられてきた。砂漠のまわりなどの、たけの短い草が生えるステップでは、らくだや羊などの家畜を連れ、水や草を求めて移動する遊牧が行われてきた。強い日ざしや砂ぼこりから体を守るため、全身をおおう、ゆったりとした衣服も見られる。下の雨温図では、シンガポールとバンコクが熱帯、カイロとウランバートルが乾燥帯にあたる。



気温(折れ線・左の目盛り)と降水量(棒・右の目盛り)。どの都市も同じ目盛り。1991～2020年の平年値(気象庁ほか)。

問いへの答え

熱帯の人々は、暑さや湿気をさけるために高床の住居に住み、キャッサバなどのいも類やバナナを主食にしてきた。乾燥帯の人々は、オアシスやかんがいで水を得て農業を行い、日干しれんがの家に住み、ステップでは家畜を連れて移動する遊牧を行ってきた。どちらの地域でも、気候に合わせた工夫をして暮らしている。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

